

## 産業担い手育成事業奨励金交付式 15名に奨励金が交付されました

12月19日（木）健康センターにおいて、せたな町産業担い手育成事業奨励金の交付式が開催されました。

現在、町では各産業の担い手育成のため、「せたな町産業担い手育成条例」を制定し、該当する各産業の後継者などに対して、奨励金を交付するなど、支援を行っています。

この日は、奨励金制度の対象となる新規就業者、Uターン等就業者、新学卒者らが出席し、今年、新規交付となる6名と、新規交付から担い手として5年間町内で活動し、今回2次交付となる9名の計15名へ町長からそれぞれに奨励金が交付されました。

奨励金の交付を受けた皆さんは、「奨励金を活用し新しい技術や資格を身に付けたい」、「地域のために貢献できることをしたい」などといった意気込みを語っていました。



## 19名の力作が完成しました 大成区新春書初め大会

1月6日（月）、大成町民センター大ホールにおいて、新春書初め大会が開催されました。

この日は、小学生から一般まで19名が参加し、講師・榎田昌好さん（宮野）の指導のもと、3時間近くみっちり練習を積んだ後に清書し、それぞれの力作が完成しました。出来上がった作品は2月中旬まで大成図書館にて展示しておりますので、皆さんぜひご覧になってください。

## 北海道知事感謝状・北海道交通安全推進委員会会長表彰 交通事故死ゼロ1,500日を達成

12月8日（日）をもって、せたな町の交通事故死ゼロが1,500日を達成したことに伴い、12月20日（金）、北海道知事感謝状と北海道交通安全推進委員会会長表彰の授与が行われました。

この日は、町長室において檜山振興局保健環境部の遠藤環境福祉長から感謝状と表彰状が高橋町長へ伝達されました。



近藤光弘杯 3+8=11 サンパイイレブン



## 創設以来初の函館地区大会優勝 せたなジュニアFCが初の栄冠

1月12日（日）、北斗総合体育館で開催された第8回サンパイイレブンジュニアサッカー大会で、せたな町の少年サッカーチーム「せたなジュニアFC」（U-10）が、見事優勝を飾りました。

これまで、せたな町の少年サッカーチームが、クラブチームの多い函館地区の大会で優勝したことは無く、今回の優勝はチーム創設以来初めての快挙となりました。また、本大会において檜山管内のチームが優勝するのも初めてとなります。

この大会は、8月に1次予選が行われておりましたが、大雨による延期で1月11日（土）に2次予選の開催となりました。

1次予選、2次予選を突破し、1月12日（日）の決勝トーナメントへ進んだせたなジュニアFCは、準決勝でCORAZON keFC（江差・上ノ国）に3-0で勝利、決勝戦では浜分FC オレンジに4-2で勝利し、悲願の函館地区優勝を飾りました。

## 町民など約60名が参加しました 市民後見人養成講座修了生が報告会

12月8日（日）、せたな町健康センターで、市民後見人養成講座修了生報告会が行われました。この日は、町民など約60名が会場に訪れ、市民後見人養成講座の修了生による人形劇や寸劇、事例報告など、市民後見人の周知活動が行われ、また、東京大学の専門講師による講演会も開催されました。

### 後見人養成講座修了生 報告会 〔住民参加型高齢者生活支援等推進事業〕



### なぜ今、市民後見人なのか？

認知症などで判断能力が低下し、金銭管理や契約行為ができない、消費者被害に遭う高齢者が増加し、成年後見制度の必要性は一層高まっています。後見人には親族が担う親族後見人、弁護士や司法書士等が担う専門職後見人がおりますが、地域の支え合い体制づくりの一つとして、新たに一般市民を後見人の担い手にしようという動きが、全国的にも広がりを見せています。市民後見人の活動支援の仕組みづくり、地域で信頼される市民後見人の育成が今、時代の急務となっています。



## クリスマス青い羽根チャリティパーティー バンド演奏や歌謡ショーも

12月22日（日）、瀬棚町民センターにおいて「クリスマス青い羽根チャリティパーティー」が開催されました。

今年で9回目を迎えるこのパーティーは、(財)海上保安協会瀬棚支部主催のチャリティイベントで、バンド演奏や「道高むつ子」さんによる歌謡ショー、お楽しみ抽選会が行われ来場したみなさんは楽しい時間を過ごしました。

このイベントのチケット代金等の一部は「青い羽根募金」と「せたな町社会福祉協議会」へ寄付されます。